

## 出エジ20 出エジプト記15章22節～27節

### 「マラとエリムでの体験」

#### 1. 文脈の確認

- (1) イスラエルの民は、紅海を渡った。
- (2) 荒野の旅が始まった。
- (3) 荒野の旅は、ご自身の民を訓練する学校でもある。
- (4) きょうの内容は分かりやすいが、それを自分に適用するのは難しい。

#### 2. アウトライン

- (1) 最初の3日間 (15:22)
- (2) マラでの体験 (15:23～26)
- (3) エリムでの体験 (15:27)

#### 3. きょうのメッセージは、私たちに何を教えているか。

- (1) 舞台裏について (神の御心)
- (2) 旧約聖書の約束と新約時代のクリスチャンの関係について
- (3) この箇所適用について

このメッセージは、人生が旅であることを学ぼうとするものである。

### I. 最初の3日間 (15章22節)

#### 1. 旅立ち

- (1) 「モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた」
  - ①ヘブル語の動詞 「ナサー」 ((天幕の杭を)引き抜く、出発する、移動する)
  - ②使役動詞の型 (to cause to set out)
- (2) イスラエルの民はなかなか動こうとはしなかった。
  - ①賛美に酔いしれていた。
  - ②エジプト軍から富を略奪することが可能となった。
  - ③エジプトに帰り、そこを征服する可能性さえ出てきた。
  - ④マタ14:22 5千人のパンの奇跡の後の記事
- (3) モーセとイスラエルの民の認識の相違

- ①信仰による判断
- ②肉による判断
- ③新約聖書の聖句
  - \* I コリ 3 : 1
  - \* I コリ 14 : 20
  - \* ヘブ 5 : 13~15
- ④イスラエルの民は訓練を必要としていた。

## 2. 訓練

- (1) シュルの荒野を3日間歩いた。
  - ①3日間という言葉は、生死にかかわる時によく使用される象徴的言葉でもある。
  - ②ホセ6 : 1~2  
「さあ、【主】に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、いやし、私たちを打ったが、また、包んでくださるからだ。主は二日の後、私たちを生き返らせ、三日目に私たちを立ち上がらせる。私たちは、御前に生きるのだ」
  - ③滅びの直前であっても、悔い改めるなら、【主】はすみやかに助けてくださる。
- (2) 水が見つからなかった。
  - ①【主】からの訓練である。
  - ②エジプトに留まっていたなら、この訓練はなかった。
  - ③民のつぶやきが聞こえてくるような気がする。

## II. マラでの体験 (15章23節~26節)

### 1. 喜びの後の落胆

- (1) マラの水は苦くて飲むことができなかった。
- (2) 「マラ」とは苦いという意味。

### 2. 落胆の後のつぶやき

- (1) モーセに対してつぶやいた。
- (2) 3日前には、喜び踊った民が、態度を変化させた。
  - ①習慣的つぶやきは、祝福を失い、裁きを招くことになる。
  - ②イスラエルの民の失敗から学ぶ。

### 3. モーセの祈り

#### (1) 大牧者の下で働く小牧者の役割

- ①自分が大牧者になろうとしないこと。
- ②自分も羊の一員であることを認識すること。
- ③【主】に祈ること。

#### (2) 【主】からの答え

- ①一本の木 どういう木かは分からない。
- ②モーセはそれを水に投げ入れた。
- ③水は浄化された。
- ④木に力があつたのではなく、信仰が超自然的な神の力を引き出した。

\*民21:9 青銅の蛇

\*Ⅱ列2:19~22 エリコの水源の癒し

### 4. 【主】の訓練

#### (1) これは【主】からの訓練であつた。

#### (2) 「おきてと定めを授け」

- ①モーセの律法のような体系化されたものではない。
- ②次に出てくる【主】の命令と約束のことである。

#### (3) 命令

- ①【主】の声に聞き従う。
- ②【主】が正しいと見られることを行う。
- ③その命令に耳を傾ける。
- ④そのおきてをことごとく守る。

#### (4) 約束

- ①エジプトに下したような病気を下さない。
- ②「わたしは【主】、あなたをいやす者である」  
\*ヘブル語では「ヤハウエ・ロフェイハ」となる。  
\*【主】の御名のひとつである。
- ③イスラエルが【主】に従順であるなら、祝福が約束されている。
- ④マラの水を癒したように、病が癒される。

### Ⅲ. エリムでの体験 (15章 27節)

1. エリムとは、「なつめやし」という意味。
  - (1) なつめやしがある所には、水がある。
  - (2) 完璧な休息所
    - ①12の泉
    - ②70本のなつめやし
2. 荒野の旅には、マラもあれば、エリムもある。

結論：このメッセージは、人生が旅であることを学ぼうとするものである。

1. 舞台裏について (神の御心)
  - (1) 大きな文脈を確認しておく必要がある。
  - (2) モーセとイスラエルの民の差はそこにある。
    - ①神は、自由の民を作ろうとしておられる。
    - ②神は、ご自身を礼拝する民を作ろうとしておられる。
    - ③神は、ご自身の計画を実行する民を作ろうとしておられる。
2. 旧約聖書の約束と新約時代のクリスチャンの関係について
  - (1) この箇所「おきてと定め」は、イスラエルの民に語られたもの。
    - ①アブラハム契約は無条件契約である。
    - ②その約束に基づいて、彼らはエジプトを脱出することができた。
    - ③アブラハム契約の祝福に与るためには、従順になる必要がある。
  - (2) イスラエルと教会とは別である。
    - ①イエスのことば ヨハ 16 : 33
    - ②パウロの祈りの例 II コリ 12 : 9
    - ③教会時代の原則 II テモ 3 : 12
3. この箇所の適用について
  - (1) マラからエリムという順番が大切である。

(2) ヘブ12:1~13

(3) ルツ1:20

「ナオミは彼女たちに言った。『私をナオミと呼ばないで、マラと呼んでください。全能者が私をひどい苦しみに会わせたのですから』」

②ナオミは「私の喜び」。

③マラは「苦い」。

④ルツ4:13~17は、ナオミにとってのエリムの体験である。

\*ダビデの祖父に当たるオベデの誕生

\*オベデは、仕える、僕、という意味。